

船舶事故等調査報告書

平成21年11月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009那第43号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年6月9日（火） 18時50分ごろ	
発生場所	沖縄県那覇市那覇港北北西沖 ^{かみやましま} 神山島灯台から真方位063° 3.7海里付近（概位 北緯26° 17.42′ 東経127° 38.77′）	
事故等調査の経過	平成21年6月10日、本事故の調査を担当する主管調査官（那覇事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A プレジャーボート マルマツ、7.9トン 296-16045 沖縄、個人所有 B プレジャーボート ニライカナイ、5トン未満 296-20293 沖縄、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定 B 船長、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定	
死傷者等	なし	
損傷	A 船首左舷擦過傷 B 左舷船尾破口を伴う擦過傷、予備船外機脱落	
事故等の経過	A船は、船長が1人で乗り組み、1人を同乗させ、知人の船を捜索しながら沖縄県渡嘉敷村神山島北方沖に向け、12～13ノットの速力で西進中、B船は、船長が1人で乗り組み、那覇港北北西沖において、パラシュート型シーアンカーを投入して漂泊し、釣りを行っていたところ、平成21年6月9日18時50分ごろ、A船の船首部とB船の左舷船尾とが衝突した。 両船とも自力で帰港した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南東、風力 4、視界 良好	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり A船は、航行中、適切な見張りを行わなかったものと考えられる。 B船は、適切な見張りを行わなかったものと考えられる。 船長Bは、周囲を航行していたA船が、帰港したと思い込んでいたものと考えられる。
原因	本事故は、那覇港北北西沖において、A船が航行中、B船が漂泊中、両船が適切な見張りを行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	